

改善計画書

施設 西田原保育園

(担当者 高橋桂子 )

(作成年月日 平成 30年 12月 3日)

改善事項等								施設コメント
(施設として続ける優れている点)	1	保育理念、行動目標を周知・明文化し徹底して実践している。	・全職員で子どもの姿を確認し、共有している。保護者アンケートで確認させていただく事が出来た。					
	2	働きやすい職場作りのための取り組みをしています。	・保育事務では、ソフト導入により指導計画・発達記録作成等の保育の効率化を図る。 ・有給休暇100%取得を目標とし、業務を時間内に達成することとし、残業「0」にするようにしている。					
	3	研修計画の組織化を図り、保育実践力を高めるため積極的に研修に参加し保育の質の向上に努めている。	・研修委員会を設置し研修委員の基、協議し必要とする研修の検討・計画に取り組んでいる。					
	4	地域の方に保育への参加をしてもらうことで、地域に根づいた保育園運営を行っている。	・地域の一時避難所になっている。 ・運営委員(地域、保護者、行政代表)各位が就学前保育・教育に精通され協力的です。					
	5	園内研修体制が充実している。	・保育園理念を全員で作成したことで色々なことを客観的に議論しやすくなった。					
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すぐできること	1	伝達された研修内容を理解しているか確認する仕組みを作っていく	研修後の復命書の工夫・改善 園内公開保育を実施していく	1年	2019年 4月1日	2020年 3月31日	研修を受けた結果を広く伝えるようにしていく 園内公開保育を行い意見交換会を行う機会を作る	園長 副主任
	2	実習生の研修や育成に関する基本姿勢や数値目標を事業計画に明記する	受け入れていることを積極的にアピールしていく(1回生を多く取り入れ保育実習2に繋がるようにする)	1年	2019年 4月1日	2020年 3月31日	学校と調整し受け入れ、数値目標をたて質の高い保育実習期間となるようにしていく	園長 副主任
	3	卒園後に子どもや保護者が相談できる体制を整えていく	卒園後も相談が出来る体制があること伝える	1年	2019年 2月1日	2020年 3月31日	園内に相談窓口・相談責任者を決め、誰もが相談しやすい体制作りをしていることを広報で出していく	園長 副主任
	4	保育の標準的な実施方法のPDCAを行い定期的に新しく作成する	保育の標準的な実施方法の保育手順のマニュアル化や見直しをしていく(当保育園版の物を作成する)	半年	2019年 4月1日	2020年 9月31日	月1回の会議の開催・議事内容の報告 会議によるマニュアルの見直し作成・文書化・表示	副主任 研修委員
	5	職員の経営状況への理解を促していく	全職員が関心を持ち、理解しようとする	1年	2019年 6月1日	2020年 5月31日	一人ひとりの職員が関心を持ちやすいように、幹部職員がその都度職員会議で説明し情報の共有化につなげていく	園長・統括
工夫すればできること	1	子育て経験者(高齢者など)と職員との積極的な交流を行う	地域の催し、園行事等での交流機会を増やしていく	1年	2019年 4月1日	2020年 3月31日	地域の催し(高齢者サークル・子育てイベント等)に職員が積極的に参加する。園行事等へ地域の方々の参加呼びかけをしていく	園長
	2	園の事業計画に中・長期計画を盛り込み策定を行う	園内独自の計画を作成するようにする	1年	2019年 4月1日	2020年 3月31日	他の保育施設を調査し内容を検討して計画を策定していく	園長 副主任
	3	保育園と保護者の情報化を図る	保護者への情報提供を積極的に行う	1年	2019年 4月1日	2020年 3月31日	広報活動を活発にしていく(広報誌発行、はじまりの集い・懇談会等保護者が集まる機会に情報提供をしていく)	園長 広報委員
	4	人材確保・育成の計画を立て積極的に取り組んでいく	広報誌をつくり積極的に情報誌を保護者・地域に発信していく	1年	2019年 4月1日	2020年 3月31日	ポスターや広報誌をつくる 園として、各種学校にアプローチしていく	園長 広報委員
	5							
予算化しないといけないこと	1							
	2							
	3							
	4							
	5							